

令和5年度 朝日山地森林生態系保護地域巡視員会議（春季）

朝日庄内森林生態系保全センターでは朝日山地を保全管理するため、巡視活動や様々な保全活動に従事しておりますが、広大な朝日山地をセンター職員だけで見回り、保全管理することは到底できません。そこで、朝日山地に関係の深い団体から、巡視員としてボランティアにより活動していただいております。

今年度も夏山シーズンを迎え、本格的な巡視活動の時期に入ることから、6月24日（土）、鶴岡市朝日中央コミュニティセンター（すまいる）において朝日山地森林生態系保護地域巡視員会議（春季）を開催しました。



会議風景

会議は、出羽三山の自然を守る会、山形県山岳連盟、山形県溪流釣り協議会、鶴岡市朝日庁舎、小国の自然を守る会、環境省東北地方環境事務所羽黒自然保護官及び国有林職員（東北森林管理局、関係各森林管理署及び朝日庄内森林生態系保全センター）により行われました。

開会に先立ち東北森林管理局松井計画課長から「本格的な夏山シーズンを迎え、熊の目撃情報も多くなっております。実際に山で活動される際は、安全第一で活動をお願いします。本日の会議を通じて今年度の活動に向け、様々な意見、情報の交換を図りより効果的な巡視活動に活かしていただきたい。」との挨拶がありました。

事務局からは、今年度の巡視活動計画、看板の保守、モニタリング調査報告、スノーモービル乗入状況、森林生態系保全地域の人工林から天然林への誘導方法について、朝日自然塾、ニホンジカ確認情報、マツノクロホシハバチ及びオオハングソウの対応に関する報告等がなされました。

巡視員からは、「ニホンジカについての情報共有」「モニタリング調査について」「マツノクロホシハバチの観測状況」「ブナの実の状況について」及び「熊による被害防止」等活発な議論がなされました。



会議風景（質疑応答）

最後に、朝日センター中嶋所長から「今シーズンも安全第一で巡視活動を行い、巡視員の皆さんが関心を持ったお気付きの点や森林自然の変化などに関する多数の情報をお寄せいただきたい」との閉会の挨拶により終了となりました。